【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第７部門第３区分
【発行日】平成17年10月13日(2005.10.13)

【公開番号】特開2004-32538(P2004-32538A)
【公開日】平成16年1月29日(2004.1.29)
【年通号数】公開・登録公報2004-004
【出願番号】特願2002-188354(P2002-188354)
【国際特許分類第７版】
　Ｈ０４Ｎ　1/44
　Ｈ０４Ｌ　9/16
　Ｈ０４Ｎ　1/41
【ＦＩ】
　Ｈ０４Ｎ　1/44
　Ｈ０４Ｎ　1/41　　Ｚ
　Ｈ０４Ｌ　9/00　６４３

【手続補正書】
【提出日】平成17年6月7日(2005.6.7)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】特許請求の範囲
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
　画像データの所定領域に属するビット列を所定シフト量だけビットシフトするビットシフト手段と、
　前記ビット列がビットシフトされた前記画像データをエントロピー符号化して符号化データを生成する符号化手段と、
　前記符号化データのうち前記所定領域に属する符号化データを暗号化する暗号化手段と
　を備えることを特徴とする情報処理装置。
【請求項２】
　画像データの所定領域に属するビット列を所定シフト量だけビットシフトするビットシフト手段と、
　ビットシフトされた前記ビット列を暗号化する暗号化手段と、
　前記ビット列が暗号化された前記画像データをエントロピー符号化する符号化手段と
　を備えることを特徴とする情報処理装置。
【請求項３】
　画像データを周波数変換する周波数変換手段と、
　周波数変換された画像データの所定周波数帯域の変換係数を量子化してビット列を生成する量子化手段と
　をさらに備えることを特徴とする請求項１又は２に記載の情報処理装置。
【請求項４】
　前記画像データ内の暗号化する領域を指定する指定手段をさらに備えることを特徴とする請求項１から３までのいずれか１項に記載の情報処理装置。
【請求項５】
　前記シフト量は、前記画像データにおける暗号化されない領域に属するビット列がとり得る値の範囲外の量であることを特徴とする請求項１から４までのいずれか１項に記載の情報処理装置。

【請求項６】
前記周波数変換手段が、前記画像データを複数の周波数帯域成分に分解し、
分解された周波数帯域成分ごとに前記画像データの符号化及び暗号化処理を実行することを特徴とする請求項３記載の情報処理装置。
【請求項７】
所定領域が暗号化された符号化画像データを復号する情報処理装置であって、
前記符号化画像データの前記所定領域に属する部分を暗号復号する暗号復号手段と、
前記所定領域が暗号復号された前記符号化画像データをエントロピー復号してビット列を生成する復号手段と、
前記ビット列の前記所定領域に属する部分を所定シフト量だけビットシフトするビットシフト手段と
を備えることを特徴とする情報処理装置。
【請求項８】
所定領域が暗号化された符号化画像データを復号する情報処理装置であって、
前記符号化画像データをエントロピー復号してビット列を生成する復号手段と、
前記ビット列の前記所定領域に属する部分を暗号復号する暗号復号手段と、
暗号復号された前記ビット列のうち、前記所定領域に属するビット列を所定シフト量だけビットシフトするビットシフト手段と
を備えることを特徴とする情報処理装置。
【請求項９】
前記ビット列を逆量子化して所定の周波数変換係数を生成する逆量子化手段と、
前記周波数変換係数を逆変換する逆変換手段と、
逆変換された複数の周波数変換係数を統合して一の画像データを復元する復元手段と
をさらに備えることを特徴とする請求項７又は８に記載の情報処理装置。
【請求項１０】
前記シフト量は、前記符号化画像データの符号化時にビットシフトされた値と同一であることを特徴とする請求項７から９までのいずれか１項に記載の情報処理装置。
【請求項１１】
画像データの所定領域に属するビット列を所定シフト量だけビットシフトするビットシフト工程と、
前記ビット列がビットシフトされた前記画像データをエントロピー符号化して符号化データを生成する符号化工程と、
前記符号化データのうち前記所定領域に属する符号化データを暗号化する暗号化工程と
を有することを特徴とする情報処理方法。
【請求項１２】
画像データの所定領域に属するビット列を所定シフト量だけビットシフトするビットシフト工程と、
ビットシフトされた前記ビット列を暗号化する暗号化工程と、
前記ビット列が暗号化された前記画像データをエントロピー符号化する符号化工程と
を有することを特徴とする情報処理方法。
【請求項１３】
所定領域が暗号化された符号化画像データを復号する情報処理方法であって、
前記符号化画像データの前記所定領域に属する部分を暗号復号する暗号復号工程と、
前記所定領域が暗号復号された前記符号化画像データをエントロピー復号してビット列を生成する復号工程と、
前記ビット列の前記所定領域に属する部分を所定シフト量だけビットシフトするビットシフト工程と
を有することを特徴とする情報処理方法。
【請求項１４】
所定領域が暗号化された符号化画像データを復号する情報処理方法であって、

前記符号化画像データをエントロピー復号してビット列を生成する復号工程と、
前記ビット列の前記所定領域に属する部分を暗号復号する暗号復号工程と、
暗号復号された前記ビット列のうち、前記所定領域に属するビット列を所定シフト量だけビットシフトするビットシフト工程と
を有することを特徴とする情報処理方法。
【請求項１５】
請求項１から１０までのいずれか１項に記載の情報処理装置の機能をコンピュータに実行させるためのプログラム。
【請求項１６】
請求項１５に記載のプログラムを格納したことを特徴とするコンピュータ読み取り可能な記憶媒体。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１４
【補正方法】削除
【補正の内容】

【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１５
【補正方法】削除
【補正の内容】

【手続補正４】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００２０
【補正方法】削除
【補正の内容】

【手続補正５】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００２１
【補正方法】削除
【補正の内容】